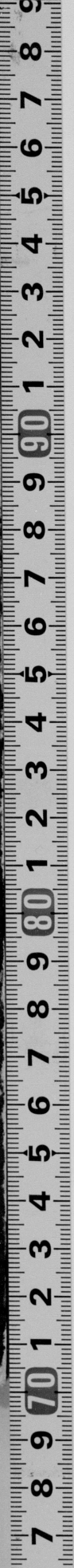


3206 356

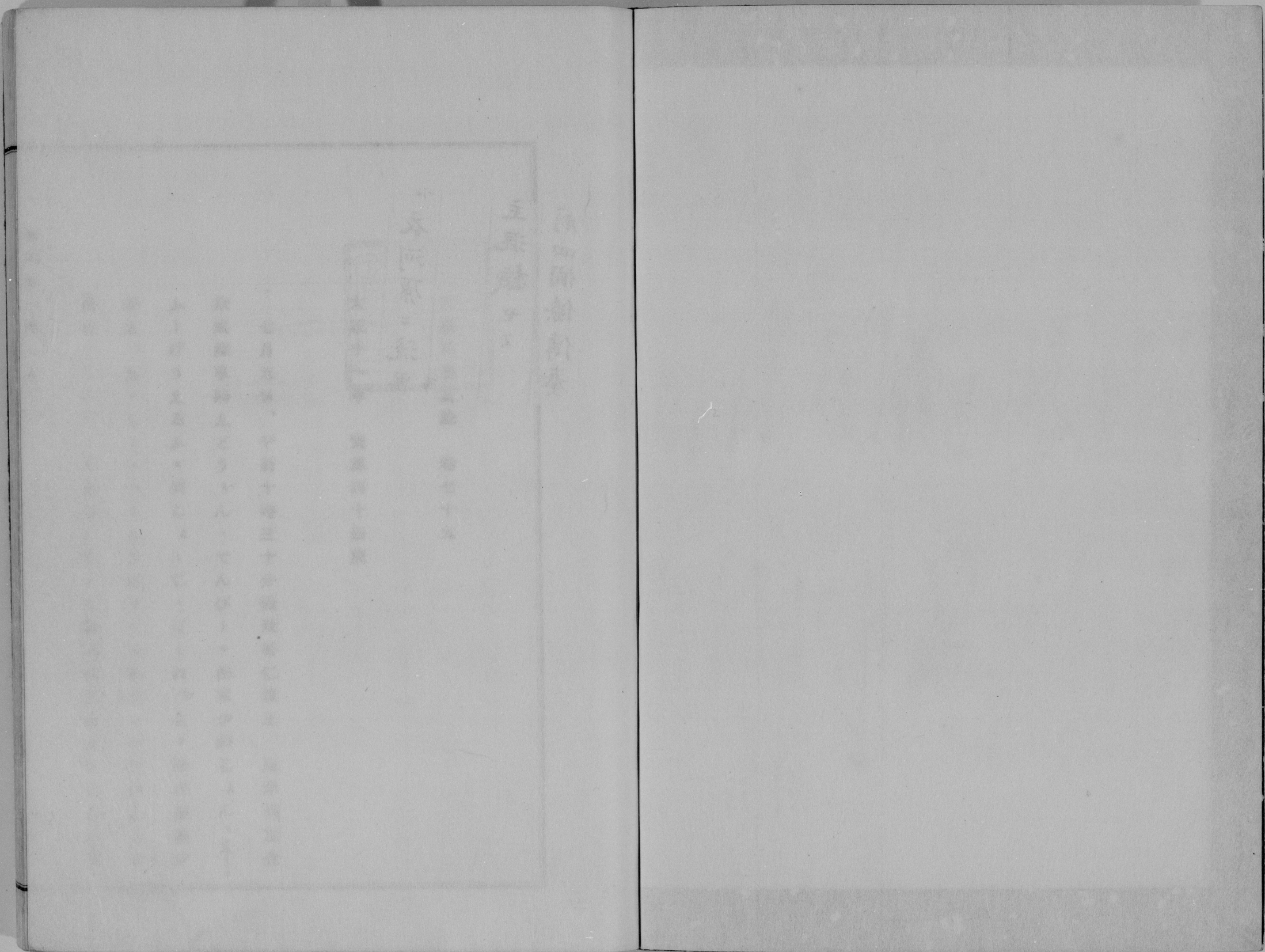
大正天皇實錄

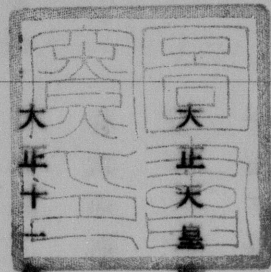
卷七十九

圖書寮	
書號	64047
冊數	97
品號	經 4



3206 357





大正天皇 實錄 卷七十九

大正十一年 實算四十四歲

七月五日、午前十時三十分攝政裕仁親王、亞米利加合衆國海軍卿えどういん・でんびー・海軍少將じょん・えい・ふーげうえるふ・同じょーじ・ばーねつと・海兵旅團少將えつち・しー・へーんす以下十三名並ビニ同國上院議員おー・いー・うえらー及ヒ同國亞細亞艦隊司令長官海

大正十一年七月

大正十一年七月

二

軍大將じよせふ・すとらうす以下十三名ヲ引見アツセツル。 官報

六日、攝政裕仁親王、北海道行啓ノ途ニ就クニヨリ、御使トシテ侍従加藤泰通ヲ東宮假御所ニ遣サル。尋イデ二十五日還啓ニ當リテハ侍従原恒太郎ヲ東宮假御所ニ遣サレタリ。侍従職日記・侍日記・侍従武官府日記・官報

九日、帝室博物館總長兼圖書頭正三位勳一等功三級森林太郎病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ從二位ニ敘セラル。其ノ薨ズルヤ送葬ニ先立チ十一日祭葬料金參千圓ヲ賜ヒ、勅使侍従岩佐公直ヲ同邸ニ遣シ幣帛ヲ賜ヘ

攝政裕仁親王
北海道行

森林太郎

圖書寮

リ。林太郎、明治十四年帝國大學醫科大學卒業、陸軍軍醫副ト爲リ、十七年獨逸國ニ留學、泰西ノ醫學ヲ研究スルコト二年有餘、二十一年歸朝、陸軍軍醫學校教官ニ任ジ、更ニ陸軍大學教官ヲ兼務、傍フ文學ヲ愛好、二十二年始メテ雜誌「國民之友」ニ「於母影」ヲ發表シ、爾來絶エズ文壇ト接觸シ、翻譯ニ、評論ニ、創作ニ、ソノ非凡ノ才藻ヲ發揮シ、技ガ文運ノ發達ニ貢獻スル處渺カラズ。其ノ前後明治二十四年醫學博士ノ學位ヲ授ケツレ、明治二十七八年戰役ノ功ニヨリ功四級、明治三十七八年戰役ノ功ニヨリ功三級金鷄勳章ヲ授ケツレ、四十年陸軍

大正十一年七月

三

皇太后
日光ニ御遊
着

軍醫總監トナリ、四十二年文學博士ノ學位ヲ授ケツレシガ、晩年宮内省ニ入り帝室博物館總長兼圖書頭トナリ帝室博物館列品方法ノ革新。御歴代ノ御追號。御事蹟。年號等ノ調査ヲナシ、或ハ帝國美術院長トシテ我ガ國美術ノ發展ニ努メ、又臨時國語調査會長トシテ國語ノ統制ニ盡瘁シ、ソノ醫學。文學ノ兩方面ニ致セル勤勞顯著ナリシヲ以テナリ。恩賜錄。官報

十二日、日光ニ御遊着ノ爲メ午前七時五十分皇后ト俱ニ宮城御出門、午後零時十分日光田母澤御用邸ニ着御、爾後、九月二十四日迄駐蹕アフセツル。侍從職日記。侍從武官府日記。

武彦王ト佐
紀子女王ノ
結婚ヲ賀シ
給フ

侍從日記・幸
官報

十四日、皇太子裕仁親王御使東宮侍從伯爵甘露寺受長。雅仁宣仁兩親王御使別當山邊知春ニ謁ヲ賜フ。侍從職日記。侍從武官府日記。

十五日、天機奉伺ノ近衛師團長陸軍中將中島正武ニ謁ヲ賜フ。侍從日記。侍從武官府日記。侍從職日記。幸官報

十九日、是ヨリ先三月二十二日武彦王ト佐紀子女王トノ結婚ヲ勅許アリ、尋イデ女王ニ勅ニ等寶冠章ヲ授ケラレシガ、是ノ日王、女王ト賢所大前ニ於テ式ヲ行フニヨリ、侍從河野實英ヲ勅使トシテ山階宮邸ニ遣シ、祝賀ノ

物ヲ賜フ。翌二十日王、妃佐紀子女王ヲ伴ヒ恩ヲ謝スル
 爲、日光田母澤御用邸ニ候セルヲ以テ、即チ謁ヲ賜フ。
 猶ホ九月二十六日王、妃朝見ノ儀アリ。攝政裕仁親
 王謁ヲ賜フ。宮内省省報・侍從職日記・典侍日記・皇親
 錄・皇族身分錄・儀式錄・祭記錄・官報・
 卒啓
 二十五日、丁抹國皇太后病篤キニヨリ、存問ノ電報ヲ
 同國皇帝くりすちあん第十世ニ發送アラセラル。翌二十
 六日電報ヲ受ケ給フ。外交慶弔
 錄・官報
 二十七日、攝政裕仁親王、宣仁親王、日光田母澤御用
 邸ニ候スルヲ以テ謁ヲ賜ヒ、午餐ニ陪セシメラル。猶ホ

雅仁親王
 陸軍士官學校
 卒業ニヨリ
 賜物

駐蹕中謁ヲ賜ヘル皇族ニハ雅仁親王・崇仁親王・載仁親
 王・鳩彦王・同妃九子内親王・裕彦王妃聰子内親王・博
 義王・同妃朝子・朝融王・故恒久王妃昌子内親王・恒德
 王・慶子女王・守正王・同妃伊都子・故依仁親王妃周子・
 邦英王・成久王妃房子内親王・恒意王・同妃敏子等アリ。
卒啓錄・侍從職日記・典
 侍日記・侍從武官府日記
 二十八日、攝政裕仁親王、陸軍士官學校ニ行啓、卒業
 式ニ臨ミ、優等卒業生ニ賞ヲ賜フ。宮内省省報・行啓
 錄・恩賜錄・官報
 是ノ日、雅仁親王、陸軍士官學校ヲ卒業セルニヨリ、
 侍從子爵海江田幸吉ヲ御使トシテ宮邸ニ遣シ、軍刀壹口

攝政裕仁親王
王京御行啓

明治天皇十
年式年祭ニ
ヨリ内庭ニ
於テ御進拜

ヲ賜ヒ、翌二十九日教育總監陸軍大將秋山好古ニ謁ラ賜
ヒ、親王ノ卒業成績ヲ奏セシメフル。 侍從職日記・典侍
日記・皇族身
分録・幸啓録

二十九日、攝政裕仁親王、明治天皇山陵ニ謁スル爲メ
發セントスルニヨリ侍從子爵海江田幸吉ヲ御使トシテ
關ノ東宮御所ニ遣サル。 侍從職日記・典侍日
記・行啓録・官報

三十日、明治天皇十年式年祭ヲ行ハセラル。仍リテ皇
靈殿ニ於ケル攝政裕仁親王御名代ヲ雅仁親王ニ命ジ、山
陵ニ於テハ攝政裕仁親王親シク拜禮、御告文ヲ奏セラル。
猶ホ是ノ日、日光田母澤御用邸ノ内庭ニ於テ御進拜アツ

明治天皇御
集上木ナル
ヲ以テ觀覽

師團長夏造

セフル。 宮内省省報・侍從職日記・典侍
日記・祭記録・官報・幸啓録

是ノ日、明治天皇御集上木成リシヲ以テ前臨時編纂部
幹事三室戸敬光參候シテ之ヲ上ル。 幸啓録・侍從職
日記・典侍日記

八月二日、侍從子爵黒田長敬ヲ沼津靜浦學習院游泳池
ニ遣シ、學生游泳演習ヲ視察セシメフル。 侍從職日記・
幸啓録

十五日、第十一師團長陸軍中將正四位勳二等功三級白
川義則ノ本職ヲ免ジ第一師團長ニ、陸軍中將正五位勳二
等功四級向西兵庫ヲ第十一師團長ニ、陸軍中將正五位勳
二等功四級金谷範三ヲ第十八師團長ニ、陸軍中將正五位
勳二等功三級出中國重ヲ第十五師團長ニ補シ、第一師團

長陸軍中將西川虎次郎・第十五師團長陸軍中將市川盛太郎・第十八師團長陸軍中將高山公通ノ本職ヲ免ジ待命仰付ル。官報

李載完薨ズ

十七日、故從三位勳一等侯爵李載完ノ葬儀來ル十九日ヲ以テ行ハルルニヨリ、是ノ日朝鮮總督府京畿道知事工藤英一ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ、幣帛ヲ賜フ。猶ホ生前ノ勳勞ヲ以テ祭料金參千圓ヲ賜ヘリ。載完ハ舊韓國皇族ニシテ韓國併合ニ際シテ侯爵ヲ授ケラレ、李王家親戚中ノ重鎮トナリ、朝鮮貴族ノ首位ニ置カレ、陸軍中將ノ禮過ヲ賜フ。去ル八年以來牛島ノ民心動モスレバ、勳

圖書寮

波多野敬直薨ズ

御沙汰ヲ賜フ

播セムトスルニ當リ、謹直身ヲ持シ、範ヲ貴族ニ示シタル等其ノ功勞渺カラザリシナリ。恩賜錄 官報

二十九日、元宮内大臣從二位勳一等子爵波多野敬直病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正二位ニ叙シ、旭日桐花大綬章ヲ授ケラレ、侍從伯爵清水谷實英ヲ遣シ、其ノ病狀ヲ問ハシム。翌三十日其ノ薨ズルヤ更ニ勅使トシテ侍從岩佐公直ヲ邸ニ遣シテ弔問セシメ、更ニ九月二日侍從子爵安藤信昭ヲ勅使トシテ、御沙汰竝ビニ祭料金五千圓・幣帛・供物及ビ花ヲ賜ヒ、且ツ燒香セシメツル。御沙汰ニ日ク、

法曹ヨリ出テテ班ニ置閣ニ列シ職ヲ東宮ニ歴テ遂ニ
 宮内ニ相タリ且夕輔導シテ誠恪事ニ當リ釐革スル所
 多ク勞績彰ニ著ル其ノ老ヲ告クルニ及ヒ待ツニ優禮
 ラ以テセシニ遽ニ瀆逝ヲ聞ク痛悼曷ソ任ヘム宜ク賜
 ラ賜ヒテ以テ弔慰スヘシ

尋イテ青山齋場ニ勅使子爵安藤信昭ヲ遣シ、燒香セシメ
 フル。皇后モ亦皇后宮事務官男爵三條公輝ヲ遣サレ、祭
 料金貳千圓及ヒ花ヲ賜ヒ燒香セシメラル。敬直、明治
 七年司法省ニ出仕シ、二十三年京都地方裁判所長、三十
 二年司法次官ニ累進ス。三十六年桂内閣成ルヤ、初メテ

圖書寮

天長節ニヨ
リ内宴

置閣ニ列シ司法大臣ト爲リ、司法行政ノ刷新竝ヒニ司法
 權ノ獨立確保ニ盡力スル處アリ。後、貴族院議員ニ勅選
 セフレ、四十年勲功ニ依リ男爵ヲ授ケラレ、四十四年天
 皇、東宮ニ在ル時、擧ケラレテ東宮大夫ニ任ジ、側近ニ
 仕ヘテ克ク輔導ノ實ニ當リ、功績渺カラス。晩年、宮内
 ニ相トシテ其ノ重責ニ任ジテ、誠忠ヲ效ス所多ク、御信
 任厚シ。猶ホ、大正六年多年ノ勲勞ヲ嘉ミシ子爵ニ陞セ
 フレタリ。侍從職日記・興侍日
記・恩賜録・官報

三十一日、天長節ニヨリ午後零時三十分日光田母澤御
 用邸ニ於テ内宴ヲ開カセフレ、攝政裕仁親王・故恒久王

大正十一年八月

妃昌子内親王及ヒ宮内大臣子爵牧野伸顯・侍從武官長男
 爵内山小二郎・皇后宮大夫男爵大森鍾一・宮内次官關屋
 貞三郎・澄宮御養育掛長田内三吉・東宮侍從長子爵人江
 爲守・侍從長伯爵德川蓮孝・侍從次長男爵小早川四郎・
 典侍千種任子・秩父宮別當山邊知春ニ陪食ヲ賜ヒ、栃木
 縣知事平塚廣義以下御警衛關係者・日光町長・内務省警
 保局長代理等ニ酒饌ヲ賜フ。侍從職日記・典侍日記・侍從武官府日記・幸營錄
 九月六日、英吉利國皇族だつちえす・おぶ・あるばに
 一覽セルニヨリ、同國皇帝じよーじ第五世ニ弔問ノ電報
 ヲ發送アフセラル。外交展弔錄・官報

軍艦新高沈没ス

七日、成久王妃房子内親王、外遊勅許ノ愿ヲ謝スル爲
 メ日光田母澤御用邸ニ候セルニヨリ、謁ヲ賜フ。尋イデ
 十月三日歐羅巴ニ出發スルニヨリ、其ノ前日御使トシテ
 侍從加藤泰通ヲ北白川宮邸ニ遣サル。侍從職日記・典侍日記・侍從武官府
 九日、去ル八月二十八日勅察加おせるなや附近ニテ軍
 艦新高沈没シ、艦長海軍大佐古賀琢一以下三百二十七名
 溺死セルニヨリ、是ノ日祭藥料ヲ賜フ。又新高沈没ノ際
 救助ニ赴キ作業中溺死セル海軍三等兵曹磯村信明及ヒ重
 傷ヲ負ヒ死亡セル海軍機關兵曹長畠山由平ニモ祭藥料ヲ

内大臣ノ更
送
松方正義ニ
勅諭ヲ賜フ

ヲ賜ヘリ。宮内省省報・恩賜録
十一日、亞米利加合衆國大統領夫人病ニヨリ存問ノ電報ヲ大統領ワレレン・ヂー・はいでいんぐニ發送アフレル。翌十二日禮電アリタリ。外交慶弔録・官報
十八日、親任式ヲ行ハセブレ、從二位勳一等子爵平田東助ヲ内大臣ニ任ジ、内大臣候爵松方正義ノ本官ヲ免ジ、左ノ勅諭ヲ賜フ。
卿高年ヲ以テ常侍輔弼シ勳勞淺カフス屢々引退ヲ請フモ朕忠貞ニ倚信シテ諭留日久シ今陳情ノ切ナルヲ以テ特ニ其ノ請ヲ允ス卿具レ優游壽ヲ保チ仍舊日ノ

圖書寮

正義ヲ公爵
ニ陞シ元勳
優遇ノ御沙
汰ヲ賜フ

勅ニ遵ヒテ隨時匡輔セヨ
猶ホ從前ノ勳功ニヨリ特ニ公爵ニ陞シ、更ニ左ノ勅諭ヲ以テ元勳優遇ノ聖旨ヲ昭ニセブル。
朕正二位大勳位公爵松方正義ヲ待ツニ特ニ大臣ノ禮ヲ以テシ茲ニ元勳優遇ノ意ヲ昭ニス
又後日在官ノ勞ヲ思召サレテ青綠山水圖田能村宣幅ヲ賜直入筆ヒ、皇后モ亦磁器花瓶壹個ヲ賜ヘリ。侍從職日記・侍從武官府日誌・進退録・恩賜録・授爵録・官報・公爵松方正義傳
二十四日、秋季皇靈祭ニヨリ攝政裕仁親王御拜アリ、御告文ヲ奏セラル。祭記録・宮内省省報

皇后ト供ニ
日光ヨリ遊

供奉員

是ノ日、供奉近衛將校陸軍歩兵中尉橋一郎左衛門ニ謁
 ラ賜ヒ、後、侍從武官ヲシテ特ニ七寶富士模樣真箱一個
 ラ賜フ。一郎左衛門ハ即チ故陸軍歩兵中佐橋周太ノ子ナ
 ルヲ以テナリ。侍從職日記・侍從武官所日記
 二十五日、午前七時三十五分皇后ト供ニ日光田母澤御
 用邸御出門、同四十五分日光停車場御發車、十一時十五
 分上野停車場御著車、攝政裕仁親王始メ各皇族以下ノ奉
 迎ヲ受ケ給ヒ、同四十五分宮城ニ還幸アラセラル。
 猶ホ日光駐蹕中供奉ヲ命ゼラレタル者ハ、宮内大臣子
 爵牧野伸顯・宮内次官關屋貞三郎・宮内大臣秘書官男爵

白根松介・宮内書記官大谷正男・同渡部信・同酒卷芳男。
 同高橋具三・同金田才平・同本多猶一郎・侍從武官長男
 爵内山小二郎・侍從長伯爵德川運孝・侍從次長男爵小早
 川四郎・侍從原恒太郎・同子爵松浦端・同穗積俊水・同
 子爵安藤信昭・同伯爵清水谷實英・同落合爲誠・同男爵
 德川義恕・同子爵黒田長敬・同子爵河譜實英・同岩佐公
 直・侍從兼宮内事務官加藤泰通・同子爵海江田幸吉・侍
 從武官向井彌一・同西鏡一・同松下東治郎・同中田鐵五
 郎・同渡邊爲太郎・同大島陸太郎・皇后宮大夫男爵大森
 鍾一・皇后宮事務官西邑清・同男爵三條公輝・侍醫相磯

伊東巳代治・平田東助・後藤新平・子爵ノ御沙・扶・春仁王ニ屬

隨・同四川義方。同池邊棟三郎。同八代豐雄等ナリ。
戰日記・侍從武官府日記・典侍
日記・幸營錄・進退錄・官報
是ノ日、勳功ニヨリ特ニ從二位勳一等子爵伊東巳代治・
同子爵平田東助ヲ伯爵ニ、正三位勳一等男爵後藤新平ヲ
子爵ニ陞セフル。授爵錄・官報
春仁王既ニ成年ニ達セルヲ以テ、是ノ日勅使トシテ侍
從原恒太郎ヲ閑院宮邸ニ遣シ冠ヲ賜フ。翌二十六日王、
賢所大前ニ於テ成年式ヲ行ヒ、朝見ノ儀アリ。攝政裕仁
親王請フ賜フ。宮内省省報・侍從職日記・典侍日記・皇親錄・皇族身分錄・儀式錄・祭服錄
二十六日、攝政裕仁親王、正午豐明殿ニ於テ邦彦王・

圖書寮

皇太子裕仁・親王ト良子・女王トノ結・婚成約ニヨリ納采ノ儀

守正王ヲ召シ、元臨時外交調査委員會總裁内閣總理大臣
男爵加藤友三郎具ノ他ニ午餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從職日記・宣召錄・官報
二十七日、攝政裕仁親王、午前十時三十分英吉利國支
那海艦隊司令長官海軍大將サー・あれきさんだー・だつ
ふ以下四名ヲ、又十一時伊太利國軍艦りびあ艦長海軍大
佐えるねすと・ぶるざりヲ引見セラル。侍從職日記・編見錄・官報
二十八日、皇太子裕仁親王ト良子女王トノ結婚成約ニ
ヨリ納采ノ儀アリ。賢所・皇靈殿・神殿ニ奉告ノ祭典ヲ
行ヒ、親王御拜アリ。又寧典子爵長谷信道ヲ神宮ニ、同
伯爵室町公藤ヲ神武天皇山陵・明治天皇山陵・昭憲皇太

伊東

伊東巳代治・平田東助・後藤新平・陸軍少将・春仁王

儲・同四川義方。同池邊棟三郎。同八代豊雄等ナリ
是ノ日、勳功ニヨリ特ニ從二位勳一等子爵伊東巳
同子爵平田東助ヲ伯爵ニ、正三位勳一等男爵後藤新
子爵ニ陞セフル。授爵録・官報
春仁王既ニ成年ニ達セルヲ以テ、是ノ日勅使トシ
從原恒太郎ヲ兩院官邸ニ遣シ冠ヲ賜フ。翌二十六日
賢所大前ニ於テ成年式ヲ行ヒ、朝見ノ儀アリ。攝政
親王臨ヲ賜フ。宮内省省報・侍從職日記・典侍日記
皇親錄・皇族身分録・儀式録・祭服
二十六日、攝政裕仁親王、正午豐明殿ニ於テ邦彦

皇太子裕仁
親王ト良子
女王トノ結
婚成約ニヨ
リ納采ノ儀

守正王ヲ召シ、元臨時外交調査委員會總裁内閣總理
男爵加藤友三郎具ノ他ニ午餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從職
宣召録
二十七日、攝政裕仁親王、午前十時三十分英吉利
那海艦隊司令長官海軍大將サー・あれきさんだー・
ふ以下四名ヲ、又十一時伊太利國軍艦りびあ艦長海
佐えるねすと・ぶるざりヲ引見セラル。侍從職日記
編見録・官
二十八日、皇太子裕仁親王ト良子女王トノ結婚成
ヨリ納采ノ儀アリ。賢所・皇靈殿・神殿ニ奉告ノ祭
行ヒ、親王御拜アリ。又奉典子爵長谷信道ヲ神宮ニ
伯爵至町公藤ヲ神武天皇山陵・明治天皇山陵・昭憲

伊瀬知好成
亮ス

后山陵ニ参向セシメ、奉幣ノ儀アリ。是ノ日勅使トシテ侍従長伯爵徳川達孝ヲ久遠宮邸ニ遣シ、幣費ヲ授ケフレ、又勅使トシテ侍従次長男爵小早川四郎ヲ同宮邸ニ遣サレ、女王ヲ勅一等ニ敘シ、寶冠章ヲ賜フ。仍リテ邦彦王。同妃倪子ハ勅使参邸ノ都度、参内シテ勅旨ヲ奉承シ、更ニ天恩ヲ拜謝ス。宮内省省報・侍従職日記・興侍日記・進退録・儀式録・祭記録・東京御所儀録・進退録

三十日、陸軍中將從三位勅一等功四級男爵伊瀬知好成病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正三位ニ敘シ、其ノ薨ズルヤ十月四日祭桑料金千圓ヲ賜ヒ、又神奈川縣

圖書寮

皇大神宮本
殿ニ遷座

トニフ奉儀ヲ行フニ當リ、神奈川縣知事井上孝哉ヲ勅使トシテ同邸ニ遣シ幣帛ヲ賜フ。好成、明治四年御親兵分隊長ニ出身以來、累進シテ陸軍中將トナリ、其ノ間、戦役ニ出征シ、旅團長・師團長・威海衛占領軍司令官ノ要職ニ膺リ、四十年、明治三十七八年戦役ノ功ニヨリテ男爵ヲ授ケフレタリ。恩賜録・官報

十月二日、皇大神宮本殿遷座ニヨリ奉幣、竝ビニ四日豐受大神宮奉幣ノ爲メ奉典佐伯有毅ヲ勅使トシテ参向セシメラル。宮内省省報・興侍日記・進退録・官報

六日、午後三時表御座所ニ於テ邦彦王妃倪子竝ビニ長

子女王ニ謁ヲ賜フ。是女王東宮妃成約後初度ナリ。侍從
記・侍從
官府日誌

十一日、午前十時十分攝政裕仁親王、和蘭國海牙ニ赴

任スル特命全權大使男爵松井慶四郎、歐羅巴ニ赴ク陸軍

歩兵大佐林仙之以下七名ニ謁ヲ賜フ。拜謁參拜
録・官報

是ノ日、正二位勳一等伯爵田中光顯・同子爵曾我祐準

老節ニヨリ呂中杖ヲ賜フ。恩賜録・
官報

十四日、羅馬尼亞國皇帝・皇后戴冠式舉行ニヨリ祝賀

ノ電報ヲ發送アラセフル。尋イデ二十二日電報アリタリ、

外交
録・官報

出中光顯・
曾我祐準ニ
宮中杖ヲ賜
フ

兒島惣次郎
薨ズ

十七日、神嘗祭ニヨリ神嘉殿兩庇ニ於テ攝政裕仁親王
神宮御遊拜アリ、更ニ賢所ニ於テ祭典ヲ行ハセラル、御
拜アリ、御告又ヲ奏セフル。又奉典八束清眞ヲ勅使トシ
テ神宮以ヒニ豐受大神宮ニ參向セシメラル。宮内省省報・
典侍日記・
祭記録・進
退録・官報

十八日、陸軍次官陸軍中將正四位勳一等兒島惣次郎病
篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ從三位ニ敘シ、其
ノ薨スルニ及ビ祭料金千五百圓ヲ賜ヒ、十九日送葬ニ
當リ侍從岩佐公直ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜フ。
惣次郎、明治二十四年三月陸軍歩兵少尉ニ出身以來、累

小牧昌業

進シテ陸軍中將トナリ、其ノ間、旅團長・陸軍歩兵學校長・朝鮮憲兵隊司令官・聯哈噠軍司令官等ノ重職ニ膺リ、更ニ現官ニ轉シ、軍政ニ參劃スル處、尠カラザリシヲ以テナリ。侍從職日記・恩賜錄・官報

二十一日、午前十時三十分、攝政裕仁親王、亞米利加合衆國特命全權大使チャールズ・ビー・ワイレンノ帶同セルあつそしえいてつど・ふれつ社社長ふらんく・ビーのいえすヲ引見アリ、皇后モ亦のいえす夫妻ヲ引見アラセラル。官報

二十三日、臨時帝室編修局御用掛宮中顧問官從三位勳

雅仁親王

二等小牧昌業病篤キニヨリ、特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正三位ニ敘シ、勳一等瑞寶章ヲ授ケ、侍從落合爲誠ヲ其ノ邸ニ遣シ、物ヲ賜ヒ存問セシメラル。二十六日、薨スルニ及ビ、二十八日祭桑料金貳千圓ヲ賜ヒ、侍從子爵黒田長敬ヲ勅使トシテ同邸ニ遣シ幣帛ヲ賜フ。昌業、明治二年二月議政官史官試補ニ出身以來、數官ヲ歴任シテ内閣書記官長・知事・樞密院書記官長・錦鶏間祇候ヨリ宮中顧問官トナリ、晩年屢々御進講ニ侍スル等勳勞顯著タリシヲ以テナリ。侍從職日記・恩賜錄・官報

二十五日、雅仁親王ヲ陸軍歩兵少尉ニ任ジ、大勳位ニ

尉任シ大
副位菊花大
綬章ヲ賜フ
攝政裕仁親
王伊國大使
等ヲ引見

叙シ、攝政裕仁親王親シク菊花大綬章ヲ授ケラル。侍從
記・興侍日記・皇
族身分録・官報

是ノ日、午前十時三十分攝政裕仁親王、不日歸國スル
伊太利國特命全權大使男爵かるろ・ありおつち及び我が
海軍備務英吉利國飛行團團長元空軍大佐だぶりゆい・え
ふ・えふ・せんびるヲ引見アリ、更ニ歐羅巴ニ赴ク陸軍
他兵大尉大角亨以下五名ニ謁ヲ賜フ。皇后モ亦ありおつ
ち並びニせんびる夫妻ヲ引見アラセラル。侍從日記・
見録・興侍日記・官報
見録・官報

二十八日、午前十時三十分攝政裕仁親王、赤十字社聯

學制頒布五
十年記念祝
典ニ勅語ヲ
賜フ

盟事務總長さー・くろーど・えつち・ひる。赤十字國際
委員會代表しゆれむめる。赤十字社聯盟代表らいまん。
ぶらいそんヲ引見アリ、支那國ヨリ歸朝セル陸軍中將東
乙彦ニ謁ヲ賜フ。午前十時四十分皇后亦桐間ニテひる以
下三名ヲ引見アラセラル。侍從日記・興侍日記・謁
見録・興侍日記・官報
二十九日、楊彦王、歐羅巴ニ赴クニヨリ、請暇ノ爲メ
參内セルヲ以テ、謁ヲ賜フ。侍從日記・
興侍日記
三十日、東京帝國大學ニテ學制頒布五十年記念祝典ヲ
舉行スルニヨリ、攝政裕仁親王同大學ニ行啓アリ、左ノ
勅語ヲ賜フ。

學制頒布セラレテヨリ茲ニ五十年文教普及及ヒ學藝
 盛ニ興リ以テ今日アルヲ致ス是レ實ニ皇考ノ大猷ト
 朝野ノ協力トニ因レリ今斯ノ式典ヲ行フハ朕ノ最モ
 喜フ所ナリ

惟フニ教育ハ心身兼ネ養ヒ智徳竝ヒ進ムヲ向フ國家
 ノ光輝社會ノ品位政治經濟國防産業等ノ發達一トシ
 ア其ノ效ニ待タサルナシ皇考ノ制ヲ定メ學ヲ勸メタ
 マヘルハ是カ爲ナリ朕深ク前後從事諸員ノ勞績ヲ嘉
 シ更ニ克ク朕カ紹述ノ意ヲ體シテ遺訓ヲ遵奉シ常ニ
 中外ノ時勢ヲ察シテ心ヲ啓發成就ニ用ヒ益々力ヲ教

圖書寮

天皇節祝日
 觀兵式ニ臨
 敬裕仁親王
 台臨
 皇后三重縣
 京都府下ニ

學ノ振興ニ盡シテ以テ文運ノ昌明ヲ圖ラムコトヲ望ム
 願ルニ明治五年八月二日學制頒布セラレテヨリ、茲ニ我
 カ教育ノ方針立テ、學校ノ經營ハ定マリ、爾來、五十年
 克ク繼繼ヲ奉戴シ、我カ文運ノ昌明ハ國運ノ伸展ト相俟
 ナテ我カ文化史上ニ異彩ヲ放チ、又將來發展ノ基礎ヲ築
 キシナリ。幸啓錄・行
 啓録・官報

三十一日、天皇節祝日ニヨリ攝政裕仁親王、代々木練
 兵場ニ行啓、觀兵式ニ臨マセラル。猶ホ宴會ハ御靜養中
 ニヨリ之ヲ止メサセラル。官報

十一月三日、午前七時五十五分皇后御出門、三重縣及

行啓

ビ京都府下ニ行啓、尋イデ十八日午後七時還啓アラセラ
ル。侍從職日記・侍從武官府日誌・
典侍日記・幸啓録・官報

四日、午前十時四十分攝政裕仁親王、第八師團長陸軍
中將小野寺重太郎ニ謁ヲ賜ヒ、豊明殿ニテ戰仁親王・邦
彦王・守正王ヲ召シ、浦潮派遣軍司令官陸軍大將立花小
一郎以下五十二名ニ午餐ノ陪食ヲ賜フ。侍從職日記・
宣石録・官報

八日、午前十時三十分攝政裕仁親王、解任歸國スル瑞
典國特命全權公使だづのつど・くりすちやん・べるぐす
とろえーむ・和蘭國特命全權公使よんくへーる・で・ぐ
らーふヲ引見アリ、和蘭國ヨリ歸朝セル特命全權公使出

攝政裕仁親
王歸國ノ瑞
典國公使等
ヲ引見

圖書寮

攝政裕仁親
王陸軍特別
大演習統裁
ノ爲ノ香川
縣ニ行啓

付七太及ヒ英吉利國ヨリ歸朝セル海軍少將小林躰造ニ謁
ヲ賜フ。神謁參拜録・
謁見録・官報

是ノ日、正午攝政裕仁親王、武彦王・守正王ヲ召シ、
勝香閣祇候具ノ他ノ者ニ午餐ノ陪食ヲ賜フ。宣石録・
官報

十一日、攝政裕仁親王、博恭王・武彦王ヲ召シ、前第
三艦隊司令長官海軍中將鈴木貞太郎具ノ他ノ者ニ午餐ノ
陪食ヲ賜フ。宣石録・
官報

十二日、攝政裕仁親王、陸軍特別大演習統裁ノ爲メ香
川縣下ニ行啓、高松ニ大本營ヲ置キ、十五日ヨリ十八日
ニ至ルマテ高濱・託間・善通寺及ヒ琴平等ニテ演習ヲ御

演離宮ニ遊幸

統裁アリ。十九日善通寺練兵場ニテ觀兵式ヲ行ハセラレ、大演習關係者ニ饗ヲ賜ヒ、十二月四日還啓アリ。典侍日記・行

官報・官報

十五日、午前十時御出門、演離宮ニ遊幸、鴨御獵並ビニ苑内御遊歩ノ上、午後三時二十分還御アラセラル。侍

職日記・侍從武官府日誌・典侍日記・幸啓錄・官報

十七日、義ニ佛蘭西國滞在中ノ松彦王、同國大統領みるらんヨリれじおん・どぬーる最高勳章ヲ贈與セラレタルヲ以テ、是ノ日同大統領ニ謝禮ノ電報ヲ發送アラセラル。外交廣報・官報

赤坂離宮ニ行幸

二十日、午前九時四十分御出門、赤坂離宮ニ行幸、菊花ヲ御覽、同所僂婦閣ニ於テ御少憩アリ、十時五十五分還幸アラセラル。後、内庭ニ於テモ亦菊花ヲ御覽ノコトアリ。侍從職日記・侍從武官府日誌・典侍日記・幸啓錄・官報

二十一日、午後二時皇后、赤坂離宮御苑觀菊會ニ臨マセラレ、皇族・大勳位以下群臣及ビ各國使臣ニ陪覽ヲ賜フコト恒例ノ如シ。侍從武官府日誌・典侍日記・幸啓錄・觀菊會錄・官報

二十三日、神嘉殿ニテ新嘗祭ノ儀ヲ行ヒ、二十四日曉ニ及ブ。御膳養中ニヨリ御拜アラセラレス。又賢所・皇靈殿・神殿ニテ祭典ヲ行ハシメ、神宮ニ肇典立花寛篤ヲ

朝鮮軍司令官等更迭

勅使トシテ參向セシメラル。官内省省報・侍從武官府日誌・典侍日記・祭記録・進退録・官報

二十四日、陸軍大將從三位勳一等功二級大庭二郎ヲ軍事參議官ニ、陸軍中將正四位勳一等功三級菊池愼之助ヲ朝鮮軍司令官ニ、陸軍中將從四位勳一等功三級奈良武次ヲ侍從武官長ニ、陸軍中將從四位勳一等功三級星野庄三郎ヲ第九師團長ニ、陸軍中將從四位勳二等功四級濱面又助ヲ第三師團長ニ、陸軍中將從四位勳二等功四級濱面又六師團長ニ補シ、侍從武官長陸軍大將男爵内山小二郎・軍事參議官陸軍大將松川敏胤・軍事參議官陸軍大將柴五

圖書寮

郎・第九師團長陸軍中將松浦寬成・第六師團長陸軍中將山田虎夫・第七師團司令部附陸軍少將中村稻彦ノ本職ヲ免シ、侍命ヲ命ゼラル。侍從武官府日誌・侍從職日記・官報

二十五日、午前十時三十分皇后、轉任ニヨリ參内セル和蘭國特命全權公使よんくへーる。で、ぐらゝふ夫妻及ヒ娘竝ヒニ陸軍特別大演習陪觀ノ爲メ來朝セル支那國陸軍中將張國仁以下四名ヲ引見アラセラル。典侍日記・謁見録・官報

二十六日、皇后、守正王・同妃伊都子・王世子李垠・同妃方子女王・李垠公ト午餐ヲ御會食、帝室會計審査局長官倉富勇三郎等ニ陪食ヲ賜フ。典侍日記・宣召録・官報

雅仁親王成年式後ノ賜宴

二十九日、正午載仁親王ヲ參謀本部ニ遣シ、守正王・參謀總長元帥子爵上原勇作等ニ賜饌アリ。宣召録・官報

十二月四日、明治天皇御集下賜ノ恩ヲ謝シ奉ル爲メ參内セル前侍從武官陸軍中將渡邊爲太郎及ビ上京ニヨリ參内セル前侍從武官陸軍少將大内義一ニ謁ヲ賜ヒ、義一ニハ特ニ親シク時贈懷古硯箱ヲ賜フ。侍從武官府日記・侍從日記・與侍日記

五日、是ヨリ先、六月二十五日雅仁親王成年式ヲ舉ゲタルヲ以テ、是ノ日午後零時三十分豐明殿ニテ午餐ヲ催サセラレ、皇后出御、攝政裕仁親王・雅仁親王之ニ臨ミ、各皇族・各國大公使・大勳位以下前官禮遇以上宮内省部

圖書寮

内庭ニ祝宴ヲ開キ給フ

局長官・秩父宮附別當竝ビニ以上ノ妻等ニ陪食ヲ賜フ。又翌六日午後零時皇后・攝政裕仁親王・雅仁親王牡丹間ニ臨マセラレ、樞密院副議長以下親任官待遇以上及ビ妻・宮内勅任官・同待遇・宮内奏任官・同待遇ノ者ニ謁ヲ賜ヒ、豐明殿ニテ饌ヲ賜フ。尋イデ八日午後一時ヨリ内庭ニテ祝賀ノ宴ヲ開カセラレ、皇后ト俱ニ出御、皇太子裕仁親王・雅仁親王・宣仁親王ヲ召サル。侍從日記・侍從武官府日記・與侍日記・官報

八日、東久通宮附宮務監督陸軍中將從三位勳一等功四級男爵村木雅美病篤キニヨリ、昨七日侍從子爵黑田長敬

村木雅美病

ヲ具ノ邸ニ遣シ、病狀ヲ問ハシメラレシガ、是ノ日特旨ヲ以テ位一級ヲ進メ正三位ニ叙セララル。薨ズルニ及ビ祭料金貳千五百圓ヲ賜ヒ、送葬ニ當リテハ侍從子爵河端實英ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜ヘリ。雅美、明治十二年陸軍砲兵少尉ニ任官以來、累進シテ陸軍中將トナリ、具ノ間侍從武官・東宮武官長・東宮大夫ノ要職ニ膺リ、又竹田宮・東久邇宮ノ宮務監督タリ。典侍日記・恩賜録・官報

九日、午前十時三十分攝政裕仁親王、養ニ陸軍特別大演習陪觀ノタメ渡來セシ支那國陸軍中將張國仁・陸軍少

圖書寮

葉山ニ皇后ト俱ニ御遊

將方鼎英・陸軍少將衛歩兵上校鄭楨・同劉光・支那國臨時代理公使廖恩藤ヲ引見、佛蘭西國ヨリ歸朝セル特命全權大使子爵石井菊次郎、歐羅巴・亞米利加各國ニ赴ク陸軍歩兵中佐横卷茂雄以下七名ニ謁ヲ賜フ。拜謁參拜録・謁見録・官報

十九日、御遊樂ノ爲メ午前十時二十分皇后ト俱ニ宮城御出門、午後零時十五分葉山御用邸ニ著御、是ヨリ駐蹕アラセラルル事四箇月餘ニシテ、翌大正十二年五月十日東京ニ還幸アラセラル。侍從職日記・侍從武官府日記・典侍日記・官報

二十日、波蘭國大統領遊ケルニヨリ、中間ノ電報ヲ臨時大統領ニ發送アラセラル。外交慶弔録・官報

ヲ具ノ邸ニ遣シ、病狀ヲ問ハシメラレシガ、是ノ日
 ヲ以テ位一級ヲ進メ正三位ニ敘セラル。薨ズルニ及
 藥料金貳千五百圓ヲ賜ヒ、送葬ニ當リテハ侍從子爵
 實英ヲ勅使トシテ其ノ邸ニ遣シ幣帛ヲ賜ヘリ。雅英
 治十二年陸軍砲兵少尉ニ任官以來、累進シテ陸軍中
 ナリ、具ノ間侍從武官・東宮武官長・東宮大夫ノ要
 膺リ、又竹田宮・東久邇宮ノ宮務監督タリ。
典侍日
 恩賜錄

九日、午前十時三十分攝政裕仁親王、養ニ陸軍特
 演習陪觀ノタメ渡來セシ支那國陸軍中將張國仁・陸

葉山ニ皇后
 ト供ニ御遊

將方册英・陸軍少將衛歩兵上校鄭楨・同劉光・支那
 時代理公使廖恩燕ヲ引見、佛蘭西國ヨリ歸朝セル特
 權大使子爵石井菊次郎、歐羅巴・亞米利加各國ニ赴
 軍歩兵中佐横卷茂雄以下七名ニ謁ヲ賜フ。
拜謁參拜
 謁見錄
 十九日、御遊塞ノ爲メ午前十時二十分皇后ト俱ニ
 御出門、午後零時十五分葉山御用邸ニ著御、是ヨリ
 アラモラルル學四箇月餘ニシテ、翌大正十二年五月
 東京ニ還幸アラセラル。
侍從職日記・侍從武官府
 日誌・典侍日記・官報
 二十日、波蘭國大統領逝ケルニヨリ、弔問ノ電報
 時大統領ニ發送アラセラル。
外交慶弔
 錄・官報

賜養

二十二日、宣仁親王・崇仁親王葉山御用邸ニ候スルヲ以テ謁ヲ賜ヒ、宣仁親王ヲ晚餐ニ陪セシメラル。侍從職日記・侍從武官府日誌・典侍日記

二十五日、正午載仁親王ヲ臨席セシメ、豐明殿ニ於テ國務大臣・元帥・前官禮過及ヒ樞密顧問官其ノ他ニ賜養アリ。侍從職日記・宣石録・官報

二十七日、貴族院ニテ帝國議會開院式ヲ執行セシメラル。帝國議會録・官報

3206 383

